

3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	3
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	4	3	4	3	4	3.6	4
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4

評価 委員会 関係者 意見 見評	<ul style="list-style-type: none"> ・トライデントスポーツ医療看護専門学校の大半の教員が名古屋平成看護医療専門学校の教員として残っていることにより、設置者変更による教育の混乱や質の低下はないと思われる。 ・今まで学科毎の活動が中心であったが、学科間の共同事業の実施や、定例教務会の開催など、学科間の連携や交流を強化していることは評価できる。
------------------------------	---

◆基準 4 学修成果

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1	就職率の向上が図られているか	3	3	4	4	4	3	4	3.6	3
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3	4	4	4	3	4	3.6	2
4-3	退学率の低減が図られているか	4	3	4	3	4	3	3	3.4	2
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4	3	4	4	3	4	3.7	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されている	4	3	3	4	4	3	4	3.6	3

評価 委員会 関係者 意見 見評	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度、はり・きゅう学科のはり師・きゅう師の国家試験合格率は100%は評価できるが、看護師、理学療法士、柔道整復師の国家試験合格率を高める必要がある。 ・名古屋平成看護医療専門学校としての卒業生を輩出する令和3年度に向けて、国家試験合格率、就職率の良い結果に期待したい。 ・学生の就学状況（学習理解度）の差が年々大きくなっている傾向があり、勉強についていけない学生への指導を強化する必要がある。
------------------------------	--

◆基準 5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	3	4	4	4	4	4	3.7	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	3	3	4	4	4	3.6	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	4	3	4	4	4	3.7	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	3	4	4	4	4	3.7	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	3	3	4	4	4	3.6	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	3	4	3	4	3	4	3.6	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	3	4	4	3	4	3.6	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	3	4	4	4	4	3.7	2

評価 委員 関係 意見 見評	・キャリアサポート室やカウンセラーによる学生相談窓口の設置など、トライデントスポーツ医療看護専門学校での学生支援活動は継承し、継続して実施していることは評価できる。
	・設置者が変わり、トライデントスポーツ医療看護専門学校の卒業生の扱いについて不安であったが、名古屋平成看護医療専門学校の同窓会組織を設置し、トライデントスポーツ医療看護専門学校の卒業生も同等のサービスを受けられることは評価できる。

◆基準 6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	4	3	4	3	4	3.6	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4	4	4	4	3	4	3.9	4

評価 委員 関係 意見 見評	・教育環境は、トライデントスポーツ医療看護専門学校より引継ぎ、経営移管による教育環境の低下はない。施設設備の経年劣化による老朽化が進んでいる部分については、計画的に更新する必要がある。
	・平成医療学園では、様々な海外研修が行われており、名古屋平成看護医療専門学校の学生も同様の機会が与えられることは評価できる。

◆基準 7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校	
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	平成30年度募集停止									
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか										
7-3	学納金は妥当なものとなっているか										

評価 委員 関係 意見 見評	・平成30年度はトライデントスポーツ医療看護専門学校として募集を停止をしていたが、平成31年度より名古屋平成看護医療専門学校として募集再開。
	・名古屋は地域特性上、公立の高等学校からの信頼を得ることが学校募集活動にとって重要なポイントであり、その信頼を得るためには国家試験合格率や就職率の向上を目指すべき。 ・看護学科に関しては様々な就学支援制度があるので、高校生に限らず社会人など幅広く募集を行うことも必要である。

◆基準 8 財務

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	4	4	4	3	3	3.6	2
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	4	4	4	3	4	3.7	2
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	4	4	4	3	4	3.7	4

評価 委員 関係 意見 見評	・大学を設置する学校法人であるため一条校として財務面の管理も厳しく透明性も高いため安心である。

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4

9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	4	4	4	4	2	3.6	4

評価者意見	・自己評価や学校関係者評価委員会の開催も遅れている。次年度以降速やかな実施を期待したい。									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◆基準 10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	3	3	4	4	4	3.6	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	3
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	3	3	4	3	4	3.4	2

評価者意見	・地域社会との交流（今池祭りへの参加）や、医療・スポーツ分野でのボランティア活動への積極的な参加は評価でき今後の継続を期待したい。									
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和元年12月11日

学校法人 平成医療学園
名古屋平成看護医療専門学校
校長 高木 保子